

5 学年題材指導計画

重なり合う声の美しさを感じ取ろう（4時間扱い）

1. 題材のねらい

旋律の重なり方の違いに気付いて、歌い方を工夫したり響きを味わって合唱したりする。
三部合唱の響きを味わって歌うことができるようにする。

2. 教材について

(1) いつでもあの海は（佐田和夫作詞 長谷部匡俊作曲）

《学習指導要領との関連》A(1)ア, A(2)イ, A(3)ア, B(1)ウ

海に思いを寄せるイメージソングである。歌詞は、伸び伸びとして海への憧れに満ちた歌詞の内容となっており、子どもたちにとってもとらえやすいものになっている。自分の思い描く海への思いも重ねながら歌うようにしたい。また、旋律は、前半は対位的、後半は和声的な合唱で構成され、フレーズがとらえやすい。音の重なり方の違いに気付かせるとともに、その歌い方の違いにも気を付けて工夫して歌うようにしていきたい。

(2) 星の世界（川路柳虹作詞 コンバース作曲）

《学習指導要領との関連》A(1)ア, A(2)イ, A(3)ア

アメリカのコンバースが作曲した讃美歌で、「いつくしみ深き友なるイエス」が原曲である。主旋律以外のパートは、音の動きを少なくして、やさしく歌えるように編曲された三部合唱曲である。中音部、低音部共に無理なく発声できる音域の音で構成されており、初めて三部合唱を楽しむには適した楽曲である。ただ、同じ音の続く部分が多いので、重なり合う声の響きに気を付けて歌うようにしたい。また、主旋律を生かすパートバランスにも気を付けて歌い方を工夫させていきたい。

3. 題材の評価規準

	ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽的な 感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の 評価 規準	声の重なりに関心もち、歌声が響き合う美しさを感じ取って歌おうとしている。	二部合唱や三部合唱の構成に気付いて、美しく重なり合うための工夫をしている。	声が重なり合う響きのよさに気付き、みんなの声に合わせて歌っている。	声の重なり合う美しさを味わって聴いている。
学習 活動 に お け る 具 体 の	範唱を聴いて、いろいろな声の重なりに関心もち、進んで歌おうとしている。 【Aと判断するキーワード】 正しい音程での歌唱 積極的な発表 斉唱と三部合唱の響きの違いに気付き、それぞれのよさを味わおうとしている。 【Aと判断するキーワード】 表情や行動での積極的な表現	対位的な合唱と和声的な合唱の声の重なり方の違いを感じ取っている。 【Aと判断するキーワード】 歌い方やパートの音量のバランスの違いの感受 積極的な発表 三部合唱での声の重なり方や響きの違いを感じ取って、音量や強弱を工夫している。 【Aと判断するキーワード】 積極的な発表	声の響き合いに気を付けて、正しい音程で歌っている。 【Aと判断するキーワード】 友達の声の聞き取り 曲の山を意識 声の重なり合いの違いを生かして合唱している。 【Aと判断するキーワード】 和声の響きの違いへの気付き 強弱や曲の山を意識 美しいハーモニーを意	自分たちの合唱を聴いて、声の重なり方の違いが表現できたか聴いている。 【Aと判断するキーワード】 歌い方やパートの音量のバランスの違いへの気付き 積極的な発表

評価基準	違いについての積極的な発表	曲の山を意識	識 三声の重なる響きを感じ取りながら、全体のバランスに気を付けて歌っている。 【Aと判断するキーワード】 フレーズを意識 強弱や曲の山などの工夫	
------	---------------	--------	--	--

4. 指導と評価の計画（4時間扱い） : 取り扱い項目 : 取り扱い重点項目

時	主な学習内容	具体的評価規準	指導要領との関連	内容のまとめりと関連				評価方法等
				歌唱	器楽	創作	鑑賞	
1	<p>【いつでもあの海は】 範唱CDを聴いて、曲の感じをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴いた感じを発表する。 ・歌詞から受ける印象を発表する。 ・音程を確かめながら主旋律を歌う。 ・どう歌いたいかを話し合う。 <p>範唱CDを聴いて、曲の構成をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対位的な合唱の部分と和声的な合唱の部分の違いを感じ取る。 ・ の意味を理解する。 <p>低声部の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音程を確かめながら低声部の練習をする。 	<p>ア -</p> <p>ウ -</p> <p>イ -</p>	<p>A(1)ア</p> <p>A(3)ア</p> <p>A(2)イ</p>					発表 行動観察 歌唱聴取 学習カード
2	<p>希望のパートに分かれて練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソプラノとアルトの音程を確かめながら歌う。 ・自分の声の特徴を生かし、希望でそれぞれのパートに分かれ、音程に気を付けながら練習する。 <p>二部合唱の表現の仕方について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二つの声の重なり方の違いを確かめ合う。 ・対位的、和声的な声の重なり方のよさを生かすにはどうしたらよいか話し合う。 <p>クラス合唱をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合ったことを生かして二部合唱する。 <ul style="list-style-type: none"> ・テープに録音し、重なり方の違いが表現できたかどうか、聴いて確かめ合う。 	<p>イ -</p> <p>ウ -</p> <p>エ -</p>	<p>A(2)イ</p> <p>A(2)イ</p> <p>B(1)ウ</p>					歌唱聴取 表情観察 発表

